

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

小中学生の地域貢献



10月26日(土)、27日(日)にはにちなんふる里まつりが行われました。多くの町民の皆さんに足を運んでいただき、町内の様々な団体や個人の作品展示や活動発表をご覧いただいたことと思います。今回は、このふる里まつりに日南中学校の生徒の皆さんが貢献していることをお伝えしたいと思います。

ふる里まつりと併せて、日南中学校文化祭がさつきホールで行われます。毎年、中学生は文化祭の発表に向けて何日も前から文化センターで練習に取り組めますが、その練習の合間を縫って、生徒全員が交代で準備に協力してくれています。具体的な仕事を紹介すると、①文化センター周辺のほりを飾る、②文化センター各部屋の机や椅子

を片付ける、③床を保護するためのシートを敷く、④作品を展示するパネルなどを運んで設置する、⑤駅伝大会のためのコースを整備する、などです。

ふる里まつりは日南町で最も大きなイベントの一つです。このようなイベントを準備することは人手も必要ですし、時間もかかります。中学生の皆さんの貢献あってこそこのふる里まつりなのです。

また、日南小学校では5年生が作ったお米をあかねの郷やかすみ荘にお届けするなど、自分たちでできることを実践しています。

鳥取県では、「ふるさと・キャリア教育」を通して育てたい資質・能力を以下のように体系化しています。

- ①地域のよさを知り、愛着をもつ【低・中学年】
- ②地域社会について学び、自分のできることを考える【高学年】
- ③ふるさとの課題解決のために自分にできることを考え、実践する【中学生】
- ④ふるさとや社会に貢献しようとする心を養い、自らの生き方を確立する【高校生】

ふるさと日南を知り、学び、考え、行動することを通して、地域への愛着と誇りを持ち、自分らしい生き方のできる人材へと育ててくれることを期待したいと思います。

にちなん子ども応援隊だより No. 79



子どもは興味多感です。冒険も大好きです。しかし、一生の内、体験できることはわずかです。ところが、体験ではない

けど疑似体験できることがあります。それは、読書です。

また、本は情報の宝庫です。その上、マンガは日本が世界に誇る文化の1つです。

学校の図書室をご覧になったことがありますか？絵本・図鑑・歴史書（マンガのものも含む）までいろいろバラエティーに富んだ蔵書が揃っています。学校司書さんたちの努力の賜物だと思います。

子ども応援隊では、図書支援ボランティアとして昼休憩・放課後の図書館補助をしています。仕事の内容は、本の貸し出し・返却された本の整理等です。

放課後、バスを待つ間を利用して図書館で宿題をする子もいます。「宿題を教えて。」と言われることもあります。また、「どんな本がおもしろい？」や「〇〇みたいな本ない？」と聞かれたり、「この本面白かったよ。」等々いろいろ教えてくれたりもします。

図書支援ボランティアはいつでも募集中です。特に、月曜日昼休憩・木曜日放課後は至急です。お待ちしております。

連絡先…日南町教育委員会(0859-82-1118)

コーディネータ携帯(080-5232-7712)

